

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年9月25日

事業所名: SAL

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースを確保している	はい21 どちらともいえない1 いいえ1 わからない1	現状を維持する
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき利用者2名の支援体制になるように配置(常勤スタッフ3名 非常勤スタッフ8名)	はい19 どちらともいえない0 いいえ0 わからない4	適正な配置を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	タイムスケジュールを掲示、チャイムを鳴らすなどご利用者が時間を意識して行動できるように心がけている	はい19 どちらともいえない0 いいえ2 わからない2 ○生活空間や設備等がどうなっているのかあまりわからない	ご利用者に配慮をした設備の整備を継続する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	共有スペースを利用前と利用後に清掃	はい21 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1	ご利用者にも手伝ってもらいながら、室内の美化に努める 感染を回避する為に共有スペースの消毒を継続する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	情報共有の為、勤務をしているスタッフで当日の支援の確認と、振り返りのミーティングを実施 常勤スタッフMTは月に1回実施		スタッフ間の情報の共有を継続する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価の実施実績はなし		必要があれば検討をする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修は非常勤スタッフを含めて周知。希望するスタッフにはシフトを調整している		研修の案内の継続と、参加希望者の参加の機会を確保する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用者と家族からのニーズを確認し、日々の様子やサービス利用計画を踏まえて作成する	はい22 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1	今後も継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	学習に関する目標と集団活動に関する目標を設定し支援計画を作成している		今後も継続する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	設定をした目標を達成するために必要な支援内容を計画に記載	はい22 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画やご利用者に関する情報はどのスタッフも確認できる状態にしている。最近の様子はMTで共有(支援のポイントも含めて)	はい21 どちらともいえない0 いいえ0 わからない2	今後も継続する
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	適宜ミーティングをして決定(教材、SSTや学習の内容)。決定した内容は非常勤スタッフにも共有		今後も継続する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	中高生以上のご利用者が利用されているため長期休暇も通常の開所時間と同じに設定。ただし、長期休暇中は利用時間を普段の時間とは別にもう一つ設定した	はい21 どちらともいえない0 いいえ0 わからない2	ご利用者から相談があった時は、可能な範囲で対応、利用時間を確保する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節感を感じ取れるような壁面制作をご利用者と一緒に制作 月初に季節の言葉を学習する		今後も継続する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	事前のMTで当日利用する利用者の申し送りと情報を共有。		今後も継続する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	振り返りのMTを実施。特記事項や連絡帳のコメントを確認、共有		今後も継続する
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の日報は管理者が確認、利用者ごとにファイリングをして保管		今後も継続する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	10月末と4月末にモニタリングと計画の見直しの会議を実施		今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が参加しているが、支援を担当しているスタッフが参加する等状況に応じて対応をしている 会議の内容はスタッフ間で共有		今後も継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象のご利用者なし		必要となった時検討する
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象のご利用者なし		必要となった時検討する
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	ご利用をされている子が小学校高学年以上であるため実施をする機会がなかった		要請があれば協力をする
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	過去にはあったが今年度はなし。依頼があった場合は情報を提供する		家族に情報共有が可能であることを周知し、希望がある場合は協力をする
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内事業所連絡会に参加、研修等は非常勤スタッフも含めて全員が参加できるように案内。研修の内容によってはスタッフを指名し参加をすすめた		今後も継続する
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	利用時間が夕方以降の為、児童クラブと交流する機会は持っていない	はい3 どちらともいえない1 いいえ5 わからない14 ○求めています ○交流はないけど特に必要性は感じられません	交流を希望されない家族の意見もあるので、依頼があった際は慎重に検討をしていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所として行事を開催できていないが、地域のこども食堂に協力、ご利用者もボランティアとして参加し交流を進めている		事業所としてイベントを企画は難しいがこども食堂へは今後も参加を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の際に説明を行っている	はい22 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1	今後も継続する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の際に支援内容の説明を行っている	はい22 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1	今後も継続する
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	過去、企画や実施等はなし	はい8 どちらともいえない2 いいえ5 わからない8 〇ペアレントトレーニング等アドバイスや助言があればお願い致します。	ペアレントトレーニングの実施はむずかしいが、保護者向けの学習会や講演会の情報提供をする
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を中心にやり取りをしているが、必要に応じてお電話やSNSアプリで様子をお伝えすることもある	はい21 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1	今後も継続する
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	家族から問い合わせがあった場合はその都度面談等の対応をしている。	はい22 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0	今後も継続する
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会はなし	はい2 どちらともいえない3 いいえ7 わからない11	保護者向けのイベントの企画を検討する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付窓口を設置、苦情を受け付けた際には運営規定にのっとり対応をする	はい11 どちらともいえない1 いいえ1 わからない10	苦情受付窓口の周知を続けるとともに、実際に苦情があった際は真摯に対応をする
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	写真や絵を使用しこちらの意図が伝わるように配慮をしている 必要に応じてSNSアプリも使用	はい19 どちらともいえない2 いいえ0 わからない2	今後も継続する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月上旬に前月のイベントの報告と今月実施するイベントの詳細を、下旬に次月の予定のプリント配布と、SNSアプリを使って連絡	はい15 どちらともいえない0 いいえ0 わからない8	今後も継続する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	ご利用者については、個人情報使用に関する同意書を取り交している 社員に対しては秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交している	はい19 どちらともいえない0 いいえ0 わからない4	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症、危機管理のマニュアルを作成し運用中 感染症および自然災害時対応のBCPも作成し運用中	はい20 どちらともいえない0 いいえ1 わからない2	マニュアルとBCPの周知を徹底する
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練を実施(火災と地震を想定)。1~2月に緊急連絡の為に訓練を実施(SNSアプリを使用)	はい14 どちらともいえない1 いいえ1 わからない7 ○訓練が行われているかわからない	今後も訓練を継続する
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	マニュアルを作成し運用中。虐待防止委員会を月1回実施		今後も継続する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援計画に身体拘束に関する内容を記載		今後も身体拘束はしない
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	支援計画にアレルギーに関する内容を記載 イベントを実施する際は再度家族に確認		今後も継続する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内のヒヤリハットはスタッフに共有 法人内では児童発達支援管理責任者の会議で共有するが、大きな事例の場合は事業所内でも共有		今後も継続する